

埼玉県 あっぷるさんによる日光市除染の状況報告 その1

<H24. 8月24日、日光東照宮周辺の市立小学校の除染作業レポート>

◎はじめに◎

日光市が大規模な除染作業を開始しました。日光の放射線量を気にかけている人であれば事前に知る余地はあります。しかし、観光で訪れる殆どの方は、除染作業の事を全く知らないのではないのでしょうか!? 国は、除染作業中にその地域へ立ち入る事を良しとしていません。知らなければ被曝する危険から身を守る事も出来ないのです。こういった姿勢の日光市（日光観光協会）が発表している観光安全宣言をどうして信じる事が出来るのでしょうか!?

～除染作業レポート～（何度も同じことを繰り返し発言していますがご了承ください）

日光市は2012年8月6日頃より、除染実施計画に基づき、小中学校、保育園、幼稚園の除染工事を約4億円かけて全82施設の除染を始めたそうです。

視察に行った8月24日当日も、5つの小学校のなかで4校が除染工事中でした。

82施設のうち0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上（空間線量）が50校。82施設全ての施設で表土を3cmはぎ取り、購入した新しい土（茨城県から購入）で覆土するそうです。（新聞の記事をもとに）

*今回行った小学校を地図上に示しました。

◎小百小学校・轟小学校・今市第二小学校・所野小学校・安良沢小学校の5校



◎今回視察に行った5校中今市第二小学校を除く4校は、日光東照宮周辺に所在しています。

この位置関係で一斉に除染作業をした場合は特に、風向きによっては舞い上がりによる住民の方達や観光客への被曝の影響が懸念されます。しかし、これは防ごうと思えば容易に防げることです。

しかし、日光市は積極的な除染工事実施の告知を行っておらず、地元の方でも知らない住民は普通の生活をし、何も知らずに観光客は、三猿前で「おー」と歓声をあげてるのが現状です。

こういった対応にも、自己中心的な日光市の姿勢が表れているのではないのでしょうか。